広報 こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集発行印刷人 矢部藤三郎

鵜出古木季節保育所の開設外九請願も可決

新町長・新議員による初町議会

本年四月三十日に執行せられた町長並に議会議員の改選に当り、選ばれた町民の代表は去る五月十五日臨時議会を招集正副議長、常任委員並びに各正副委員長、更に各議員の議席等を定めて閉会致しましたが、六月定例議会は議案内容からして議員が自ら研究討議をすることで改選後初議会と申上げても過言ではなかろうかと思います。

六月定例議会は六月二十二日午前九時招集せられ、議案十五件請願事項九件一括上程せられ慎重審議を重ねた結果、議案二件は取下げ他は何れも可決確定、請願事項については各常任委員会にそれぞれ附託致し二日間の日程を終了致しました。

議案内容

一、昭和三十三年度一般会計及び国民健康保険会計の専決処分の件

二、小須戸町特別職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

三、小須戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

四、小須戸町税賦課徴収条例の一部を改正する条例

五、中蒲原郡市町村養老院組合規約中の一部を改正する規約

六、法定伝染病患者委託入院契約に関する件

七、小須戸町収入役選任の件

八、小須戸町教育委員任命の件

九、小須戸町固定資産評価審査委員選任の件

十、寄附採納願に関する件

十一、小須戸橋水久橋架設促進同盟会結成の件

外に昭和三十四年度一般会計、水道会計、国保会計の追加更正予算

右の部分について特に関係あるものにつき説明を致しましょう。

㊀民生委員に今まで支給してなかった費用弁償を日額二五〇円支給する事になった。

㊁小須戸町職員の給与の中、六月十五日に支給する期末手当を〇・一五カ月分増額支給する事となった。

㊂本町の賦課徴収条例の中、固定資産税の非課税の範囲を左のように定めた。

(1)小須戸町農業協同組合及び新潟県経済農業協同組合連合会の事業の用に供する土地

(2)小須戸町各大字に於て所有する公会堂、青年会館及びその敷地

又固定資産税の免税点も左のように定めた。

「土地又は家屋にあってはそれぞれ一万円、償却資産にあっては十万円」を「土地にあっては二万円、家屋にあっては三万円、償却資産にあっては十五万円」に改めた

㊃小須戸町収入役選任の件は助役も同時に提案すべきであろうと云う事で取下げをした。

㊄教育委員の欠員には左の者が議会の同意を得て任命せられた。

竜玄 長沢 熊太郎
小須戸 川田 達弥

㊅固定資産評価審査委員二名の同意は必要になる時期まで考えて見る事として取下げをした

他は何れも原案通り可決致しました。

請願事項の主なもの

一、町裏排水溝永久整拡施行による請願二件

二、小須戸農業協同組合倉庫増築費補助請願

三、たばこ廻転看板設置補助金請願

四、町道位置変更につき請願

五、道路舗装実現方請願

六、矢代田駅前撤水車新設補助請願

七、露店市場に関する請願

八、悪水排除に関する請願

季節保育所開設

昨年より地元に於て強く要望致して居りました鵜出古木青年会館を使用して開設する季節保育所については、去る六月定例議会に於て一部造改築及び事務費を合せ三十万円の予算を議決し、去る七月十日開所式を行い約四カ月間保育に欠ける子供さんを預かって、季節保育所を開設致しました保育料は一カ月四百六十円と定めました。

公民館の新組織

本年度改選による公民館の新組織は次のように決定しました。

館長 宮崎純能
副館長 坂井富三郎
〃 丸山清三郎
小須戸分館長 橋本国衛
副分館長 三浦茂
〃 能登長時
〃 主事 渡辺且治
矢代田分館長 渡辺関司
副分館長 田村正男
新保分館長 丸山愛一郎
副分館長 丸山純一郎
主事 古田英夫
横水分館長 木村敬三郎
主事 田村厚

夏季犯罪の防止について

今年も亦暑ぐるしい夏がやって来ました。戸や障子を解放して就寝しておられる家庭も夜警らの際ポッポッ見受けられます。暑くて寝苦しいので開放している気持は良くわかりますが、反面その開放を狙う大きな犯罪のある事にお気付きでしょうか。いよいよ夏季犯罪の最盛期を迎えようとしている季節です。犯罪を誘発させるような行為、行動はお互にさけて犯罪防止に御協力願います。

夏季犯罪と申しましても罪種、手口等数多く一々御説明申上げるには枚挙に限りがありませんので、身近かな問題を二三申上げまして、皆様方の御参考に願えれば幸甚に存じます。

㈠性犯罪について

夏季犯罪の中でも最も多いのは何と言っても性犯罪でしょう。これは犯罪を誘発する機会の多い事もその一つです。

夜間、戸を開放のまゝ就寝し蚊張の中で若い女の人の寝みだれ姿を外から見られるような事は性犯罪を誘発する原因の一つです。若い女性が流行と涼を求めて挑発的な服装をすること、或は見知らぬ男に声をかけられてニヤニヤするような女性も性犯罪誘発の原因となります。

㈡侵入盗犯について

昼夜を問わず夏は戸や障子が開放勝ちになり、昼間ちょっと隣近所へ用事に出かけたすきや夜間就寝中に簞笥の中を空にされたり、枕元の金庫を持って行かれたりするような事が多いから呉々も戸締りだけは充分御注意下さい。

㈢暴力犯罪について

納涼夏祭り、盆踊り、その他夏季行事の際には兎角暴力的不良事犯の発生が予想されます。世間からのチンピラ連中には近寄らない事と、不良連中同志の喧嘩を見たり、たかりに合ったような時にはすぐ警察へ御連絡下さい。

暴力犯罪は文化国家の恥です、みんなで協力して暴力犯罪を無くしましょう。

㈣少年の不良化防止

少年の不良化するのも夏が多いとされております。最近少年犯罪しかも兇悪犯が増加してきておりますが、次の世代を背負う青少年がこのような傾向にある事は誠に残念な事ですが、保護者にも責任があると思います。深夜まで遊ばせたり、小使銭を使途も聞かずに与えるような事のないようにすると共に、不良の友達との交際はさせないよう家庭でも充分監督して、もし少年について心配されるような点がありましたら、警察の少年相談係に御相談下さい。

少年の幸福の為に最善の御指導を致します。

㈤溺死事故と火災の予防

幼児の水死事故の多いのもこの季節です。町内で既に一件の水死事故が発生しております。可愛い我子を親の不注意から死亡させるような事のないよう子守は必ずつけて下さい。又夏はすべての物が乾燥しております。煙草の吸がらをうっかり捨てたのが元で、大火の起った例もありますから火気取扱いには特段の御注意を願います。

（小須戸警部補派出所）
斎木重正

アリヤアリヤ〳〵サ

民謡協会の講習会風景

第一位知事賞に佐藤仁君

県下席書大会団体第三位

六月二十一日、県下五十余会場に於て行われた新潟県下学生席書大会に於て期待以上に多数特選に入賞した。

尚特選入賞者は七月二十六日新潟に於て授賞式が行われる。

主な入賞者次の通り

高校部知事賞 佐藤仁
市長賞 今井幸子
〃 大塚小夜子
〃 五十田知子
〃 佐藤八重子
中学部市長賞 塩野修
〃 島倉紀之
〃 高野京子
書会賞 佐藤葉子
小学県教委賞 村山英隆
市長賞 古川茂
〃 砂井久雄
〃 菅井稔

金賞 八三名

中学生

五十嵐正一 砂井美智子
野崎美智子 佐々木和夫
加藤勇 砂井久一
我妻ルリ子 浅見良子
岡崎律 加藤穂美子
一本鎗星子 簗取アサ子
八木スミ子 大塚憲子
近藤佑子

小学生

高野正栄 間野宏英
佐藤正 砂井仲太郎
槙谷好邦 栗原道夫
砂井政男 栄森光夫
上田敏夫 広川キイ
高橋信子 植木由美子
佐藤エミ子 竹内安子
丸山正子 清水沢三枝
石井恵子 牧野朝子
川村小百合 小林寿美子
田中壮太郎 小林五郎
風間松衛 関俊雄
島倉雅志 渡辺則男
一本鎗夏男 五十嵐和弥
森内如子 渡辺チツ子
斎藤早苗 梅津純子
片岡レイ 本望広子
真保和子 平田美江子
高野春江 佐藤朝子
川村田百子 片岡久子
小林和子 吉岡澄子
西村照子 上田敏
森田耕司 能登保
佐藤克雄 中村栄吉
栗原康男 折笠輝男
成田園子 高山栄子
楠真理子 星野とも子
森田恵 中野伸子
久保春美 加藤ウメ
簑和松一 古川志津雄
高山泰樹 梅津恵美子
村山麗子 川村真理子
佐藤美知子 谷川洋子
須藤あさ子 渡辺厚

（銀賞以下略）

小須戸風土記

伝染病の流行

柏大治

昔から伝染病は色々と流行していますが、特に天然痘とコレラが小須戸に大流行した事があります。寛政十年正月二十一日（一七九八年）小須戸、加茂、大面附近に痘瘡が大発生して、当時の一級漢方医千葉立斎、小原鏡庵、柏泰順等の諸先生をめんくらわせ、予防対策もたてる事ができないで新発田藩へ応援を求めた事があります。

藩では早速好順という医師を派遣して施療方を仰せ付けました。どんな治療をしたか不明ですが当時柏崎医学館（修行医が試験を受ける処）では大関長善という医師が一すおくれて文久元年に種痘をしていたという記録がありますが、その時はそうした技術はなく大部「あばた」「いもくし」の人が出来たという事です

その後 天然痘は明治二十四年、二十五年と流行しましたが、町民は天然痘には驚かず、一度は伝染するのがあたりまえだ、丁度厄か宿命のように考え、若いうちにかゝれば軽く済むと、わざわざ天然痘患者の処へ行きうつして来たという事です。

当時の唄に「好いて見ればあばたもえくぼ」という唄が流行しました。又コレラが大流行した事があります。

コレラについてはオランダの医師ヘンデレックドウーフが文政五年正月十五日に将軍家拝礼の為江戸へ参向して、ジャワにコレラが流行した時の治療法について幕府医官桂川甫賢にコレラの防疫対策について建言したが幕府医官はあまり関心がなかったという事です。

やがて対馬よりコレラが侵入して関西、伊勢路まで波及し、死者が出て大惨事を起しましたが、予防対策もなくそのまゝ明治に至りました。

明治十五年夏コレラが流行して、小須戸町は毎日棺桶が五つ六つと行列をなし、町民を恐怖のどん底に落し入れました。この時の死者は寺等の記録によれば百二十人に、罹患者二百四十人にも達しました。小須戸町では真昼からしとみ戸をおろし、死の町のようになったそうです。

この際も新しい伝染病に対する医師の知識もなく、手当のすべを知らなかったという事です。

当時この病原菌（コッホ氏発見）を知らない人達は、昔からある霍乱（かくらん）だと思っていたという事です。そして病気の原因は瓜、西瓜だとされていました。そのため農家は大被害を受けました。

小須戸の市に売出る瓜西瓜を巡査と役人（役場吏員）は見付次第片端しからふみつけて道路上では瓜、西瓜の無惨な死体で山をなしたということです。

一方医師の治療は梅干（うめ）と「からし」だけで「生きる者は良し、死ぬ者も亦良し」という具合で、コレラ対策には手の付けられようがなかったようです。しかし面白い事に水を沢山飲んだ者が大概助かったという事です。その頃石炭酸の霧を吹けば「コレラ」が恐れて近よれないという説が流行して、どこの家庭でも石炭酸を用意したので、一時薬品の価格がくるったそうです。又痢病退散の行事が神社や寺で見うけられました。

今から考えると誠に医学も幼稚であったし、町民の衛生思想などは殆どありませんでした。然し今でもたまに隣の迷惑も考えず畜舎を自分の家よりはなし、隣家の台所あたりに建て平気で公衆衛生とは自分の家だけ清潔にしておればという人もありますが、やがて自分も良くし人様も良くしたいという事になりましょう。

全国一般にこうした衛生思想の低級さに驚いた政府では明治三十年四月一日、法律第三六号を以て「伝染病予防法」というものを定めました。

腸チフス、パラチフス、コレラ、赤痢、痘瘡、発疹チフス、猩紅熱、ジフテリア、流行性脳髄膜炎及びペストの十病をとりあげ伝染病の恐しさを大いに教えると共に予防に努め、町村に対して伝染病舎を造る事を奨励しました。天然痘にも一向へこたれない町民もこれ以来伝染病に対してはおく病になったり神経質になったようです。

小須戸町では明治三十一年に始めて種痘を施行しました。「あばた」の見受けられないのはこのお陰です。

過去の伝染病の恐しさを経験した町当局は明治三十一年に鵜出古木北山神社の東側の梨畑に四畳半七室の伝染病舎を急造し、伝染病患者の収容に当てました。然しまもなく廃止して一時新保の折笠さんの自宅を伝染病舎に使用した事もありますが、明治三十七年現在の新保の町営住宅の地に伝染病院を設置、四畳半十二室の入院室を設備患者を収容しました。その後昭和二十六年六月に住宅に転用されました。又矢代田では同時代に本多丹吾氏宅の所有地に矢代田伝染病舎が建てられた事もあります。伝染病は恐しいものだという観念が徹底したのでありましょう。ごく最近まで新保の病院前を通る時は口に手をあて呼吸を止めて下駄を持ち、はだしで一目散に走ったものです。

今でも伝染病は恐しいという事を忘れたくないものです。

（三四・七・五）

なぎさ

映画かんでのたばこ

この間の日よう日、家の人からお金をもらって町へ映画を見に行きました。

はじめはあまりこんでいないのでらく〳〵としていましたが、だん〳〵大ぜい入ってきて、私の前のあいていた所にも大きなおとなの人がすわりました。私は映画がよく見えないので首をまげて前の人の頭の間から見ていました。

ところが少したったらそのおとなの人はパッとマッチをすって「たばこ」をのみはじめましたのでその「けむり」のためにけむたくて〳〵、映画を見てもさっぱりおもしろくありませんでした。

せっかくひと月に一回の映画をたのしみにして行ったのに、ほんとうにざんねんでした。

大きな町の映画かんでは、映画を見ながらたばこをのんでいる人はいないそうですが、小須戸の町ではどうしてこんなおとなの人がおおいのでしょうか。

どうか、おねがいですから、子どもの映画の時には、おとなの人は映画を見ながらたばこをのまないようにしてください

―一小学生より―

(プール問題対談)無理もあったが早期実現の為に

○プールの工事も進んでいますなあ、すばらしい鉄塔を組みましたが何をするんですか。

△あゝあれですか、あれはプール本体のコンクリ打ちをする為のものです。二十切(サイ)近くの大ミキサーがあの下にありますが、そこで調合したコンクリをあの上に吊したグラドボッパーへ持ち上げて長いとよのようなシュートとかいうもので、思う処へ流し落すんだそうです。何しろ一日でプール全体を作り上げるというので、四十尺程度という約束の塔を請負側で七十尺にしたんです。あの型枠組みだけでも大したものです。当日は見ものでしょう。

○そんなにまでしなくては、いけないものでしょうか。

△えゝ、私も初めあなたと同じ疑問をもったのですが、設計者の説明を聞いてやっと納得した訳ですがね。プールは漏ったらどうにもなりません。一日に打てば同質のコンクリが底も立ち上りも一しょに固まるので、ひび割れも出来にくいって理屈ですね。それに基礎が大変なんですよ。差渡し一・二五センチ長さ三メートルの鉄筋コンクリ杭があの下にビッシリ三百八十五本も打込んであります。いわばプールは六十万円の坐布団を敷いている次第ですね。その為に思わぬ予算を食う事になりましたよ。

○いや、しかし永久施設ですから安心のできる工事をした方がいゝでしょうな。予算は二百五十万とか聞きましたね。それですっかり出来上るのですか。

△はい、工費は二百五十万です。契約が二百二十七万で、あとは設計謝礼や常任監督費、印刷費、借入金々利、式典費など、水道の増し工事費もそこから出る事になりましょう。まだ便所などもほしいのですが一応打ち切ってあります。余分に金が集まれば、さしずめそこらを考えたいものですがね。

○まあ、あなた方の側はできるだけ良くしたいでしょうが、金を出す身にもなって下さい。一般には資金のメドもつかないうちに、あんまり進め過ぎたじゃないか、という声があるようですが……

△実はそれが一ばん痛いところで、私もどこまでも頭を下げなければならないと思います。

しかしプールに関する限り、いつの会合でも結論は早期実現「下手すると三十四年の間に合わないじゃないか」と委員や父兄の皆さんに気合を入れられ通しだったものです。

六月十六日設計完成後の委員会でも最後の決定は「三百万円でもよい、今年の間に合わせるように進めよ」という事だったので急いで手順を運んだ訳です。委員でも異論があって出られなかった方と、委員でもなくPTAにも関係されない方々に御了解頂く機会のなかった事は誠に残念に思います。

○それはまあ、やむを得ないでしょう。それで資金計画はどうなっているんですか。

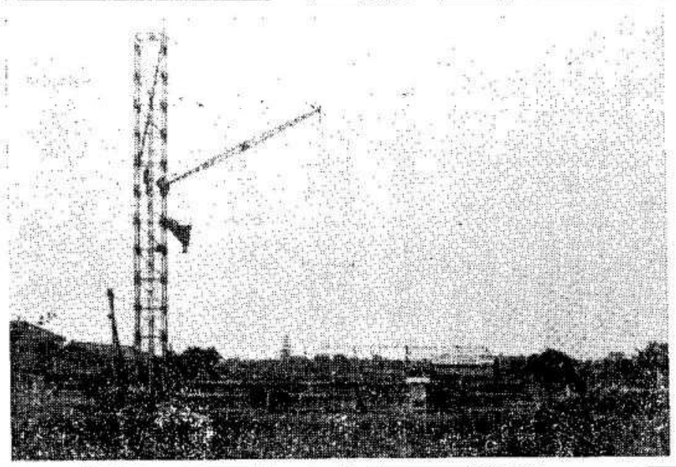
△PTAの積立金五十万円、町予算に組んで頂く為二十四議員の御紹介で請願している額が百二十五万円、一般募金額が七十五万円となっています。七十五万の募金はなか〱容易ならぬ金額だと思いますが、第二の町民福祉の為に皆様方の温い御理解と御援助をお願い致したいと存じます。

○子供たちの為ですものこゝへ来てはできるだけ立派にやる外ありませんわ。泣く子と地頭には勝たれないって訳ですかな。

アハハハハハ

× ×

(筆者　中学校長　坂井冨三郎)


プール工事現場(34・7・12)

堂々二位

剣道クラブの活躍

六月二十八日、新津市近郷剣道大会に参加した剣道クラブは、決勝に新大チームと対戦、惜しくも破れたが堂々二位の成果を収めた。

メンバーは次の通り。

加藤初段　堀内初段
池田初段
石井三段　高野三段

尚高野三段は個人一般の部でも二位の栄誉を獲得し小・中学生の部でもBチームは健斗二回戦まで進出した。

重労働も趣味なれば

カチ、カチ、カチ、カチ、目覚し時計が二時を指針すれば夫は不思議に目を覚まし、むっつりと起きあがる。外はいまだ明けやらず昼間の騒音を忘れさせ、虫の音が時々耳に達するのみ、今日は公休日同僚と共に出張という次第。

用件は竹の棒、即ち釣竿をお供に水中の世界より魚族を釣り上げる仕事だそうだ。

日頃は朝七時のサイレンを耳にしても眠くて眠くて起きあがれない癖に好きな仕事に出る時は数時間も早く目がさめるとは恐れ入った話、私はこのような趣味を否定する訳ではないが、又肯定しようとも思わない。

昼食用のおにぎりを持参で出かけるまでは良いが、魚の餌にするあの気味悪い長いものをやにわに手でいじり、その手を洗うのか洗わぬのか手づかみでおにぎりを食べるが全く想像しただけでも汗が出るような状態。おまけに夕方早く帰るかと思えばあえてそうでもなくざっと十五・六時間ぶっ通しの仕事だ。法にあてはめるなら違法というべく苦言が出る筈なのに…かような趣味をお持ちの殿方が、小須戸には仲々大勢おいでになるようだが、中でもYさんは商売柄非常に多忙を来たしているにも拘らず、これだけは止められないそうだ。

彼は朝五時に起床、七時～八時の間には帰ると言っているが、昼間眠たくないかと問えば「好きでやるんだもの」と言う。私は感心した。このように朝仕事前の二時間位は健全なるその日を暮す上にも糧となるのであろうと思った。

朝の空気はとてもきれいだから、それにしても早朝午前二時なんて重労な趣味だと思う……といったら過言だろうか。良くまあ、あきずに十五六時間も川面を眺めておられたものだと感心?せざるを得ない。

さてその土産話たるやYさんが言った無銭飲食?とやら一命を救われ喜ぶ魚の事、ガボガボッといわせて逃げたあの魚はおそらく三十センチもあるだろうに……、なんて真面目くさって本当らしく然もその事を得意顔で話す。聞く者は「又か、あてにならない」と言った表情。それもその筈、釣りに行く度に一回ずつ大きな魚を逃がすんだから……小学校時代習った〃おおかみと少年〃式な話。

次にくるのが釣り上げて持ち帰った魚、食べたいまゝに捕って貰った魚ぢゃないが捨てるも悪い(釣る人の手前)その後始末がこちらに廻って来るピチピチとはねる魚を順々に、出刃で命をとってゆくそのつらさ……時々私はつぶやく「こうしてお前の命を貰うのは私も切ない、だがお前はこのようになる運命にあるのだ許してくれよ」と又プツリ頭を切り取る。こんな私の気持を大きな声で笑う人もあるだろうが…路上で遊ぶ雀に〃そこのけそこのけお馬が通る〃といった俳人一茶を思い出す。いずれまとめて魚供養でもするとしようか

○　○

さて重労働の趣味に疲れ切って大の字になる釣師?の姿を見れば、いささか苦笑せざるを得ない。最も飲酒やかけ事に比べたらどうだと言われゝば、いいえとも言えず、まあ結構でしょうと言っておかねばなるまい。あくまでもその趣味によって健康を害さぬよう願って止まない。

私と同じ立場にある奥様方、共に御笑読願えればと思い、あえて広報の一隅をお借りした次第。

(新町　A子)

中学校だより

(1) 続　教材御寄附

文部省より産業教育研究指定校を拝命後、更に左の諸氏から教材の御寄附がありました。厚く御礼を申上げます。

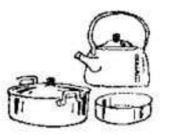
○発信用、工業用外各種真空管標本沢山　出雲町柳屋ラジオ店殿
○むささび剝製標本　新保　村山脩次殿

(2) PTA半日学校盛況

PTA会員委員会で計画された半日学校は第一回を去る六月三十日に修学旅行を中心に映画と座談会、第二回を七月十一日に県厚生課長片桐健三郎氏の講演会「親の考え子の考え」を開催したが参会者はそれ〲百余名で大へん盛況であった。尚第三、四、五回は次の予定で開催される。

第三回　九月
○主題　映画「子供の日」を見て
第四回　十一月
○主題　生徒会活動について
第五回　一月
○主題　親と子の語る会

季節の料理



新じゃがとそら豆のソテー

材料(三人前)

小粒のじゃが芋六百グラム、そら豆カップ二杯玉葱二個、ベーコン三枚

作り方

(1) じゃが芋とそら豆は塩ゆでして皮をむく。

(2) 玉葱はたて八ツにベーコンは一口切に。

(3) フライパンに少量のバターをとかしてベーコンをいため、ベーコンの油が出たら一たん取り出す。バター大さじ三杯足してじゃが芋を入れ、きつね色になるまでいためる。

(4) 玉葱とそら豆を加え、玉葱がすき通るようになったらベーコンを入れ、全部一緒にしてくずさないようにしていためる。塩小さじ一杯半と胡椒少々で調味する。好みにより次のように更に調味を加えてもよい。しょう油大さじ一、ソース大さじ一、酢大さじ一と砂糖小さじ二杯位とする。

連合青年団郡球技大会

期日　7月26日
場所　小須戸小学校
種目　野球・排球

期日　8月2日
場所　小須戸中学校
種目　卓球

銷夏話題

大沢感応寺裏山に大蛇あらわる

少しお古いが去る五月半ばのはなし。

天ヶ沢大沢部落のAさんが感応寺裏山へ薪とりに出かけた。折から暑さの為のどがかわいたので水を飲もうと思って感応寺の水取口(谷から寺の飲料水をとる処)の付近へ行ったとたん「ひゃあー」と声を上げて腰を抜かしてしまった。それも道理、胴まわり三十糎(約一尺)、長さ三米(約一丈)もあろうかと思われる大蛇が、藪草をそよがせながらする〱と目の前を通り過ぎて行くではないか。しばらくはぶる〱ふるえながら動く事もできなかったAさん、ようやく這うようにして家に帰りついたものの、それから二三日は病人のように床についてしまった。

後で現場(?)へ感応寺御住職が行って見ると間違いもなく、しかも余程大物らしく通路と思われるあたりの藪の草が倒れ伏し、木の枝までが折れ落ちておったという。

以来、御住職は境内の裏山へ行く時は万一の事を考えて、大きな草刈り鎌をはなした事がないとのこと……

もっとも感応寺の池は昔からのがまの繁殖地で時ともなれば何百何千のがまが集まり、夜を徹して愛情の交かんが絶えないという。多分そのがまを食糧として、この辺に大蛇が住んでいるのではないかという御住職の御意見である。

何はともあれ近頃ざわっとしたはなし。

いかがです、誰か大蛇退治に探険しようという勇士はありませんか——

連青球技大会成績

町連合青年団球技大会は七月十二日開催したが優勝者は左の通り。

○排球男子　小向チーム
○仝　女子　小向チーム
○卓球団体　小須戸Aチーム
○仝個人男　高橋忠次郎
○仝　女　吉田ハル

第十七回 懸賞クイズ

さあ家中そろつて考えましょう

プールの工事がどん〱進んでいますが、それについて次の問題に答えて下さい。

① プールを作り上げるのに、どれくらいお金がかゝるのでしょうか

② 基礎工事に長いコンクリートの杭が何本打ちこんでありますか。

③ 工事場に組んであるやぐら(塔)の高さは、どれくらいあるでしょう。

(ヒントはこの公報のどこかに出ています)

答ははがきに書いて「広報クイズ係」あてに〆切は八月五日

○前回の解答

(1)	ホ	なます	六〇年
(2)	ロ	こい	四五〃
(3)	ト	どじょう	二〇〃
(4)	イ	まだい	一〇〃
(5)	ニ	さけ	四～五
(6)	ヘ	いわし	二～三
(7)	ハ	あゆ	一～二

◎このたびは問題がむずかしかった為か応募者が一人もありませんでした。誠に残念でした。

なお参考までに——

うなぎ	五五年
きんぎょ	二～三〇
たら	一三〃
ぶり	一〇〃
にしん	八～一〇
さば	五～六
はぜ	三

七月購入図書

◇上信の山と高原　東京山旅倶楽部
◇磐梯・吾妻・安達太良山　宮田恒男
◇パズル・クイズ(推理の百科)　小城　栄
◇推理小説　張込み　松本清張
◇時代小説　啾々吟　松本清張
◇鎮西八郎　南条範夫
◇梨の花　中野重治
◇どろんこ天国(高橋朝子の死と生の記録)　高橋朝子外
◇女の中の悪魔　由起しげ子
◇愛の認識について　我妻洋
◇芽ばえ　豊田正子
◇女経　村松梢風
◇妻は知っていた　円地文子
◇酒と女と槍と　海音寺潮五郎
◇夜の処刑者　日影丈吉
◇シスター君とブラザー嬢　宮本幹也
◇日本経済の見かた　後藤誉之助
◇赤い太陽　山中正男
◇へそてん随筆　村田光司
◇子供は知っている　竹田敏彦
◇不知火軍記　山田風太郎
◇かげろう使者　江崎俊平
◇ユーモア百貨店　北町一郎
◇耳をとらなかった話　邱永漢
◇親鸞とその妻(一)(越後時代)　丹羽文雄
◇信仰雑話　石川武美
◇現代における人間と社会　富田嘉郎外
◇日本の歴史(三)(北朝南朝)　岡田章雄
◇新しい食事療法　村井則忠

おわび

今号は多数の御投稿を頂きましたが紙面の都合により掲載できなかった事をおわび致します。

第二十二回

囲碁将棋大会

期日　八月二十六日
会場　小須戸公民館二階
授賞　各々五位まで
会費　五十円当日納入
同好者お誘いの上多数参加下さい
主催　囲碁将棋クラブ・公民館

北山神社夜灯句

小須戸町俳句同好会

平股をたゝいて暑さ語りけり　杏水
茄子畑の下葉もぬれゝ夕立止む　水月
梅雨晴れて馬一頭や草っ原　虚月
老杉の落雷の痕まざと見し　水秋
中座する心つもりの端居かな　虚葵
赤き帯のみを浮かせて田草取　向川
買物に母かしげ行く梅雨の傘　竜朗
ハーモニカ吹けて楽しく夏休　山葵
藻刈舟漕ぎ寄る水路いく曲り　雲竜
音聞いてまた走り出る花火かな　一陽
金魚玉今日の事了い吾子をだく　旺賓
国上に蝉生る良寛様はふるき人　越樓
浜の夕焼村ぐるみ烏賊干す匂い　まつし
初蝉をきゝつゝ除草薬を撒く　渓灯
戸締りをして寝る迄の夕涼み　流水
庭の桐ひろがりつくし梅雨上る　石秋